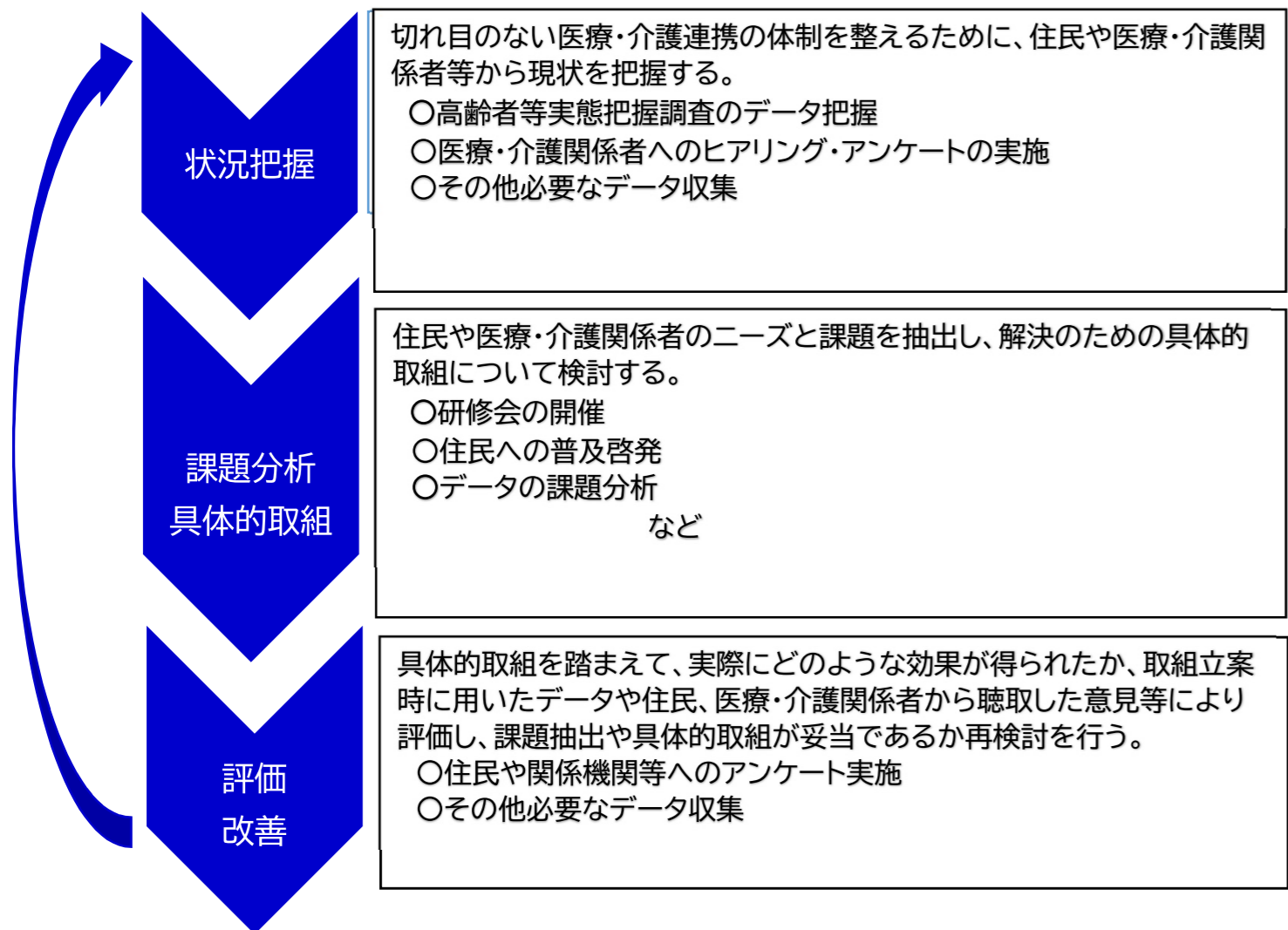


【地域の目指すべき姿(目標)】

大目標 本人または家族と医療・介護関係者が、本人の人生の最終段階における意思を共有し、円滑な連携を図ることで、本人が望む場所で最期を迎えることができる。

小目標 (1) 住民が看取り等について十分に認識・理解し、最終段階における意思を話し合うことができる。
(2) 医療・介護関係者が本人及び家族の意思決定を支援できる。
(3) 医療・介護関係者等及び本人・家族間で、人生の最終段階における本人の意思に対し、必要な連携を図ることができる。

【実施内容(計画)】



【進捗状況】

- 【令和6年度】 状況把握**
- 「看取り」に関連するデータの把握及び関係機関への調査の実施
- 居宅介護支援事業所:調査票によるアンケートの実施
 - 医療機関:ヒアリングによる調査を実施中
- 【令和6年度】課題分析・具体的取り組み**
- 研修会の開催→テーマ:在宅を支える医療・介護者連携研修会」の開催
 - 住民への普及啓発→ACP人材バンク登録医による講話を1市3町で5回開催
 - 収集データやアンケート・ヒアリングによる調査結果を考察する